

地域と時を紡ぐ人々

連綿と受け継がれる地域の伝統や芸能、自然などを次代に継承する方々を、広報たかやまではシリーズで紹介していきます。

第五章

今年も元気に泳いでほしい

— 四半世紀続く、好意のぼり —

飛驒川にかかる久須母橋（久々野町久須母）に大型連休中、元氣よく泳ぐこいのぼり。

地元の男性がこいのぼりの取り付けを、女性は取り付けの前に、傷んだこいのぼりの修繕作業に取り組みます。



一針一針丁寧に作業するみなさん（久須母公民館）



四半世紀続く春の久須母の風物詩です。

平成元年から始まった吹き流し。

当初は地元の各家庭で使われなくなったこいのぼりを揚げていましたが、次第に久々野町内や町外からも寄せられ、現在では約100匹に及びます。

補修作業に取り組む女性は、一匹一匹手に取り確認しながら、ほどけた生地を糸で縫い合わせます。作業に携わる一人、安藤真由美さん（39）は数年前に嫁ぎ先の母親から補修作業をバトンタッチ。子どもたちも毎年楽しみにしている。今年も元気に泳いでほしいと願い「これからもずっと続けたい」と笑顔で語りました。

現在も飾るこいのぼりを募っています。久須母のみなさんの好意に寄せて、家庭で不用になったこいのぼりを、再び大空を泳がせてみませんか。

【今年の吹き流し】

4月27日（日）～5月5日（月祝）

【問合せ】

ひだ桃源郷くぐりの観光協会

☎52-2270

久須母町内会長 榎信好さん

☎52-2815



飛驒高山は おいしい米どころ

高山市長 國島芳明

地元の米農家と市でつくる「飛驒高山おいしいお米プロジェクト」では、昨年収穫したお米のうち、食味値85点以上の上質米をお土産セットにして販売を開始しました。

食味値とは、米・食味分析鑑定士協会が定める味の指標で、75点以上の米は高品質と評価されるもの。プロジェクトメンバーは同協会が主催するコンクールで近年、数々の金賞を受賞されており、国の内外に「飛驒高山はおいしい米どころ」をアピールされています。



4年後には同協会のコンクール国際大会が当市で開催されることも決定。今後とも生産者のブランド米づくりと販路の開拓、認知度の向上をセットにして、戦略をたててまいります。

市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

5月21日（水）

午前8時30分～正午

※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間

午前7時～8時30分まで

※出張や特別な行事がある場合は除きます。
※市ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

市長室直通FAXもご利用ください
FAX●32-7000

問合せ | 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市長です」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.city.takayama.lg.jp/net-tv/index.html>